

大学改革この1年

—令和4年4月～令和5年3月の取組—

HIROSHIMA

UNIVERSITY

◎ 大学の改革に向けての方向性

○ ビジョン・将来計画

SPLENDOR PLAN 2017

100年後にも世界で光り輝く大学へ

広島大学を取り巻く諸情勢の変化を謙虚にかつ客観的に俯瞰し、100年後にも

世界で光り輝く大学であるための今後10年間のプランを表明（平成29年4月策定） **SPLENDOR PLAN 2017**



<広島大学のミッション（使命と役割）>

新しい平和科学の理念＝「持続可能な発展を導く科学」を確立し、多様性をはぐくむ
自由で平和な国際社会の実現

<広島大学の全体コンセプト>

「持続可能な発展を導く科学」を実践する世界的な教育研究拠点の構築

第4期中期目標期間における広島大学のあるべき姿

～「平和を希求する大学」として100年後にも世界で光り輝くために～

第4期中期目標期間において広島大学が果たすべき役割と進むべき方向性を示すもの

（令和4年1月策定）



第4期中期目標期間
における広島大学の
あるべき姿

<理念と基本方針>

広島大学は、人類史上初めての原子爆弾が投下された被爆地広島に1949年に創設された国立の総合研究大学として、平和を希求する精神、新たな知の創造、豊かな人間性を培う教育、地域社会・国際社会との共存、絶えざる自己変革、という理念5原則の下、世界から期待される役割をたゆまず省察しつつ、自由で平和な国際社会を実現し、人類の幸福に貢献することを使命とする。

新しい平和科学の理念である「持続可能な発展を導く科学」を実践する世界トップクラスの教育研究拠点を構築し、地域社会と国際社会を繋ぐ知的拠点として、海外大学の誘致やTown（地域住民や地方自治体）とGown（大学）が協働する「Town & Gown 構想」の展開により地方共創の主役を担い、多様性を育む自由で平和な国際社会の実現に貢献する「平和を希求しチャレンジする国際的教養人」を育成する。

また、変動し続ける社会において、100年後にも世界で光り輝き続ける大学であるために、教育・研究・社会貢献・医療・マネジメントのすべてで自主的・自律的な機能強化及び未来への投資を図る。研究者の自由な発想に基づく基礎研究を推進するとともに、地域から地球規模に至る社会課題の解決、とりわけSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて、カーボンニュートラルやSociety5.0等の実現に資する取組を強化し、恒久平和と一人ひとりの多様な幸せ（well-being）を実現するための新たな知と価値を常に自己創成する。

○ 令和5年度の教育研究組織整備

☆ 本学初の研究科等連係課程実施基本組織となる「スマートソサイエティ実践科学研究院」を新設することについて、文部科学省へ設置報告書を提出し、令和5年4月の設置が決定【令和4年7月】

☆ 文部科学省「魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増」に「広島が牽引する『デジタル田園都市国家構想』～DX 推進人材が切り拓く地方創生～」が選定され、令和5年度から、情報科学部の入学定員を特例的に50人増員、さらに学内振替により20人増員し、合計150人とする事が決定

【令和4年8月】

○ 教育研究に関する協定の締結

☆ 海洋・海事に関する教育・研究活動の包括的な交流と連携・協力の推進によって、人材の育成に寄与し、わが国の教育・研究の一層の進展に資することを目的に、海上保安大学校と、包括的な協定を締結

【令和5年3月】

○ 3キャンパスの機能強化に向けた取組

☆ 人生100年時代を見据えた医療の高度化・活性化を進めるための「医療人養成拠点の整備」構想及び令和5年4月に東千田キャンパスに移転する法学部の教養教育実施のための環境整備を実現するため、霞キャンパスに新講義棟「凌雲棟（りょううんとう）」を建設し、医療系学生及び法学部学生の教育や、学会、研修会等の行事への活用を開始【令和4年12月】



霞キャンパス：凌雲棟

☆ 令和5年4月に法学部と大学院人間社会科学研究科人文社会科学専攻法学・政治学プログラムを東千田キャンパスに移転し、「法曹養成を核とした人文社会科学系の新たな拠点」として強化するため、東千田キャンパスに、教員室、学生室のほか、リカレント教育と生涯学習の拠点、防災・減災の拠点となる地域連携フロア「SENDA LAB」を有する新棟「総合校舎L棟」が完成



東千田キャンパス：総合校舎L棟「SENDA LAB」

【令和5年3月】

○ 大学改革に係る評価

☆ 文部科学省「国立大学経営改革促進事業」の事業期間を通じた評価において、ASUを中心としたグローバル活動とスマートシティなどの地域活動の取組により、地域と大学が共に成長しようという特色ある構想が着実に進展していることなどが評価され、最高評価である「S」評価を獲得【令和4年10月】

○ その他大学改革に関する取組

☆ 本学の構想「Town & Gown 構想の多層展開によるアカデミック・エンタープライズの本格稼働 ～大学が先導する地方創生モデルの確立と海外共創の場形成を基盤とする持続可能な発展を導く科学の実践～」が、文部科学省令和4年度「国立大学改革・研究基盤強化推進補助金（国立大学経営改革促進事業）」における「“トップレベルの教育研究”の展開を目指す国立大学法人」の枠組みで採択【令和4年9月】

◎ 教育に関する取組

○ 平和を希求し、チャレンジする国際的教養人の育成

☆ 各国政府代表者や在京大使による平和をテーマにした講演会「ピース・レクチャー・マラソン」を開催
第6回：駐日スロベニア共和国大使館特命全権大使 アナ・ポラック・ペトリッチ氏【令和4年4月】

☆ 全学部必修科目「大学教育入門」の一環として、スポーツ、芸術、科学、ビジネスなど各界で活躍するリーダーによる講演「世界に羽ばたく。教養の力」を開講（モーリー・ロバートソン氏 ほか11人）

【令和4年4月～6月】

☆ 学部を超えた混成クラスを編成し、最先端のテーマについて学び討論する「展開ゼミ」の新設などを含めた教養教育改革を令和5年度から実施することを決定【令和4年11月】

○ その他教育に関する取組

☆ 人文社会科学分野のうち、特に教育学や経済学・経営学の分野の専門性と数理・データサイエンス・AIの素養を併せ持つ人材を育成することを目的として提案した「人文社会科学分野におけるDX推進エキスパート人材育成のための大学院新学位プログラム～教育データサイエンスプログラムとソーシャルデータサイエンスプログラムの設置～」が、文部科学省「デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業～Xプログラム～」に選定【令和4年9月】

☆ 学生が充実した大学生活を過ごせるよう、本学の教育の取組や学生生活、留学、就職・キャリア支援などについてご理解とご意見をいただくために、学部生の保護者・家族を対象とする「広島大学地域懇談会」を、松山、神戸、熊本、高松、広島、名古屋の6地区で開催【令和4年9月～11月】

☆ 法曹養成について連携し、双方の教育の円滑な接続を図ることを目的として、本学大学院人間社会科学研究科（実務法学専攻）と香川大学法学部との間で法曹養成連携協定を締結し、文部科学大臣により認定

【令和5年2月】

◎ 研究に関する取組

○ 卓越した研究拠点の形成

☆ 本学の研究マネジメントの司令塔として、全学的に研究力を可視化し、重点支援拠点の選定及び選択・集中的支援の実施、既存組織の統廃合等による創発的な研究領域の創生、学内の研究基盤を支える研究支援体制の強化等を通じて、世界トップレベルの研究拠点を創出し、本学の研究力強化に資することを目的として、「未来共創科学研究本部」を設置【令和4年4月】

☆ 我が国の半導体産業の復興を目指すため、東京工業大学、豊橋技術科学大学と連携し、革新的半導体集積回路の統合的研究開発と、それを俯瞰的にマネジメントできる人材の育成に取り組む「集積 Green-niX (グリーンニクス) 研究・人材育成拠点」が文部科学省「次世代 X-nics 半導体創生拠点形成事業」に採択【令和4年4月】

☆ 平和を希求する精神とともにイノベーションを創出するエコシステムの構築のため、本学が主幹機関となって提案を行った「Peace & Science Innovation Ecosystem」が国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)「大学発新産業創出プログラム (START) スタートアップ・エコシステム形成支援」に採択【令和4年5月】

☆ 令和3年に「Q1 ジャーナル」に掲載された臨床医学論文の総数を大学別に集計したランキングにおいて、医学部がある国内82大学中10位、中国・四国地区で1位にランクイン【令和4年7月】

☆ 経済産業省「ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業」に、本学が提案した「広島大学ワクチン・医薬品製造拠点整備」が、大学として唯一採択【令和4年9月】

☆ 本学が提案した「Town & Gown 構想を通じた地域課題の発掘と研究シーズ・技術シーズ創出によるイノベーション創出、及び新・オープンイノベーション事業本部における先端研究成果の社会実装の加速により地方創生と経営基盤強化を実現する」構想が、内閣府「地域中核大学イノベーション創出環境強化事業」に採択【令和4年9月】

☆ 分子や原子などの自然界を構成する要素の人工類似体を開発し、自然界をより深く理解することを目指す「持続可能性に寄与するキラルノット超物質拠点(International Institute for Sustainability with Knotted Chiral Meta Matter : SKCM²)」が、文部科学省「令和4年度世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)」の新規採択拠点として決定【令和4年10月】

☆ ナノデバイス研究所スーパークリーンルームに併設するオープンな産学交流の場として、「ナノデバイス研究所 J-Innovation HUB 棟(Jイノベ棟)」が竣工【令和5年3月】

☆ ナノデバイス研究所スーパークリーンルームとJイノベ棟を主な活動拠点として、半導体関連の「先端研究開発」と「高度人材教育」を行うことで、地域の産業集積と産業界全体の発展への貢献を目指し、中国経済産業局、広島県、東広島市、マイクロンメモリジャパンをはじめとする半導体産業に関わる幅広い分野の企業と本学とで「せとうち半導体共創コンソーシアム」を設立【令和5年3月】



ナノデバイス研究所 J-Innovation HUB 棟

☆ 産学協働の研究拠点を大学内に長期的に確保し、研究活動の更なる充実と産業界への一層の貢献を目指し、新たに7つの「共同研究講座」を設置

- ・口腔炎症制御学共同研究講座：アース製薬株式会社【令和4年4月】
- ・革新無機分離膜共同研究講座：イーセップ株式会社【令和4年4月】
- ・インドネシア医療関連共同研究講座：株式会社インドネシア住友商事【令和4年4月】
- ・プラチナバイオ共同研究講座バイオDX研究室：プラチナバイオ株式会社【令和4年4月】
- ・プラチナバイオ共同研究講座ゲノム編集研究室：プラチナバイオ株式会社【令和4年5月】
- ・フジタ次世代建設技術共同研究講座：株式会社フジタ【令和4年7月】
- ・富士通次世代コンピューティング共同研究講座：富士通株式会社【令和4年11月】

○ 国際高等研究所の設置

- ☆ 文部科学省世界トップレベル研究拠点プログラム(World Premier International Research Center Initiative)の研究その他国際的な最先端研究を行うため、国際高等研究所として、「持続可能性に寄与するキラリノット超物質国際研究所」を設置【令和5年2月】

○ 学内共同教育研究施設の設置

- ☆ 温室効果ガス排出による地球温暖化への対応や持続可能なエネルギーの創出に向けた研究開発と人材育成を幅広く推進し、環境・エネルギーに関する地球規模の課題解決に貢献するため、既存の自立型研究拠点である「エネルギー超高度利用研究拠点」及び「窒素循環エネルギーキャリア(N キャリア)研究拠点」と、インキュベーション研究拠点である「次世代太陽電池研究拠点」を統合し、「A-ESG 科学技術研究センター」を設置【令和4年4月】
- ☆ 持続可能な社会の実現に向けた社会変革を先導する新たな地方創生モデルを構築するため、SDGs に貢献する技術的課題の研究とイノベーション創出、社会実装を加速させる EBPM・DX 研究及び地域をフィールドに社会実装を実践する地方創生研究を進展させるとともに、イノベーション創出から社会実装までを実践するアントレプレナー人材を育成するため、「Town & Gown 未来イノベーション研究所」を設置【令和4年4月】
- ☆ 国際的な規制に即したワクチンや医薬品の製造・品質管理の課題を解決するための高度な人材教育を行うとともに、本学独自の医系研究を発展させ、広島大学病院における臨床研究開発までの取組をシームレスに推進するため、「PSI GMP 教育研究センター」を設置【令和4年10月】

○ 研究に係る評価

- ☆ 文部科学省「研究大学強化促進事業」の事後評価において、研究力強化及び活性化支援の中核として URA を位置づけ、新たなキャリアパス制度を構築するなど URA によるマネジメントのロールモデルを確立したこと、若手研究者の雇用と支援の充実によって若手教員一人当たりの論文産出量の増加を実現したことなどが評価され、最高評価である「S」評価を獲得【令和5年3月】

◎ 社会貢献に関する取組

○ Town & Gown 構想

- ☆ 令和3年1月26日に本学が宣言した「カーボンニュートラル×スマートキャンパス 5.0 宣言 (以下、「CN×SC 5.0 宣言」)」の実現に向けて、本学構成員が一丸となって取り組む気運を高め、本宣言及びその関連する取組に係る学内外への発信力向上につなげるため、「CN×SC 5.0 宣言」ロゴを作成【令和4年6月】



「CN×SC 5.0 宣言」ロゴ

- ☆ 本学のカーボンニュートラル実現に向けた行動計画として、「広島大学カーボンニュートラルの実現に向けて ～Road to 2030～アクションプラン (2022～2027)」を策定【令和4年8月】

- ☆ 令和4年3月に設立した「広島大学スマートシティ共創コンソーシアム」の設立セレモニーを開催し、民間企業の持つノウハウと経営資源、行政機関のコミットメントを融合しながら、東広島キャンパスを活用し、スマートキャンパスまたはスマートシティの形成に資する活動を本格始動

【令和5年2月】



「広島大学スマートシティ共創コンソーシアム」
設立セレモニー

○ 社会貢献に係る評価

☆ 国連のSDGsの枠組みを用いて大学の社会貢献の取組を可視化する「THE インパクトランキング 2022」において、SDGs17項目のうち5項目で世界100位以内にランクイン（SDG9（産業と技術革新の基盤をつくろう）42位、SDG1（貧困をなくそう）60位、SDG2（飢餓をゼロに）62位、SDG6（安全な水とトイレを世界中に）71位、SDG17（パートナーシップで目標を達成しよう）80位）【令和4年4月】

○ その他社会貢献に関する取組

- ☆ 公益財団法人放射線影響研究所広島研究所の霞キャンパス受入れを承諾【令和5年1月】
- ☆ 組織的かつ中長期的な産学官連携の強化を推進し、地域社会ならびに国際社会の平和と発展に貢献するため、企業等と包括的協力協定を締結（2件）
 - ・東広島市・西日本旅客鉄道株式会社（目的：広島市の都市拠点等における公共交通の機能強化に向けて、研究、および実証実験、政策形成を相互に連携しながら推進すること）【令和4年11月】
 - ・広島市・公立大学法人広島市立大学・公益財団法人広島平和文化センター（目的：核兵器のない平和な世界への思いを、教育研究を通じて世界中の市民社会の世論に根付かせ、平和への大きな潮流をつくるため、広島大学旧理学部1号館に、世界有数の平和に関する教育研究の拠点及びオール広島で「平和文化」の振興を推進する拠点を形成すること）【令和5年1月】

◎ 国際戦略に関する取組

○ 世界とつながる国際的ネットワークの構築

☆ 国内外のステークホルダー（同窓生、企業、関係機関）との連携、協働により、Society5.0やSDGs実現に向けた社会的課題の解決と新たな価値の創造を目指す「広島大学海外共創プラットフォーム構想」の第一弾モデルとして、「広島大学校友会インドネシア・チャプター」を始動【令和4年5月】



インドネシア・チャプター設立記念行事

☆ アリゾナ州立大学サンダーバードグローバル経営学部広島大学グローバル校が、令和4年4月に国立大学で初となる「外国大学の日本校」に指定され、東広島キャンパスに開校【令和4年8月】



越智学長とサンダーバードグローバル経営大学院のカGRAM学長

☆ 新たな大学間国際交流協定の締結（11協定）

- ・キングストン大学【令和4年4月】
- ・ラ・フロンテラ大学【令和4年5月】
- ・山東工商学院【令和4年6月】
- ・カイロ大学【令和4年7月】
- ・アイダホ大学【令和5年3月】

ほか6協定

（令和5年3月末までに累計399協定を締結）

○ 学内共同教育研究施設の設置

☆ 全学のグローバル化を先導しながら、Society5.0の国際展開により、国際貢献に資する実践研究と人材育成のための世界的な拠点を形成するため、「IDEC国際連携機構」を設置【令和4年4月】

○ その他国際戦略に関する取組

☆ 留学生受入れプログラム「広島大学森戸国際高等教育学院3+1プログラム」で、第7期生90人を受入れ【令和4年10月】

◎ 病院に関する取組

○ 質の高い医療の提供

- ☆ 難治性てんかんを診断する「定位的深部脳波検査（SEEG）」を素早く正確に行える「てんかん手術支援ロボット」を西日本で初めて導入【令和4年6月】
- ☆ 一般財団法人日本医療教育財団により、多言語による診療案内や、異文化・宗教に配慮した対応など、外国人患者の受入に資する体制が審査され、医療を必要とするすべての外国人に安心、安全に医療を提供できる体制であることが認められ、「外国人患者受入れ医療機関認証制度（JMIP：Japan Medical Services Accreditation for International Patients）」に認証【令和4年6月】
- ☆ 口腔ケアによる院内感染予防などを目的に、医科と歯科の臨床系診療部門が連携し、基礎研究部門なども一体となった包括的な研究センター「革新的病院口腔ケアプロジェクトセンター」を設置【令和4年6月】



「外国人患者受入れ医療機関認証制度」
認証書

○ 地域医療への貢献

- ☆ 近隣県を含めた地域の医療機関との連携強化を図るため、地域の病院等の協力のもと、寄附講座を設置
 - ・ 消化器内視鏡医学講座【令和4年4月】
 - ・ 地域創生運動器再生医療講座【令和4年4月】
 - ・ 広島中央地域・小児周産期医療支援講座【令和4年4月】

◎ 管理運営に関する取組

○ 広島大学創立 75+75 周年記念事業

- ☆ 75+75周年記念事業を学内外へ広く周知するため、キャッチフレーズ「漕ぎ出せ混沌の海に 走れ創造の彼方へ」（全学向け）、「まかしんさい、広島大学に」（入試向け）及びロゴマークを作成【令和4年7月】
- ☆ 現役学生が広島大学ゆかりの食材について調査し、学長と相談を重ねて食材を選択し、広島駅弁当株式会社と共同で開発した「広島大学弁当」の販売を開始【令和4年10月】



100年後にも世界で光り輝く大学へ
漕ぎ出せ 混沌の海に
走れ 創造の彼方へ
広島大学 75+75 周年事業
ロゴマーク

○ その他管理運営に関する取組

- ☆ 本学の教育・研究成果及び情報発信の場として、JR 広島駅の南口に完成したオフィスビル「広島 JP ビルディング」にサテライトスペース「広島大学きてみんさいラボ」を開設【令和4年10月】
- ☆ 本学の活動と運営を支えるステークホルダーに対して、本学の目指す未来と現在地について共有し、双方向の対話へとつなげることで、ステークホルダーと共に歩みを進めていくことを目的として、「広島大学統合報告書 2022」を初めて発行【令和4年10月】
- ☆ BI（ビジネスインテリジェンス）ツールを活用し、本学の基本情報をわかりやすく可視化した「広島大学ファクトブック」を新たに公開【令和4年10月】
- ☆ 在学生、教職員、同窓生、市民の方々と交流する事業「第16回ホームカミングデー」を、一部オンライン配信を併用して開催【令和4年11月】
- ☆ 令和元年12月に学生向けに策定したガイドラインを改訂し、学生・教職員のパートナーへの対応及び LGBT 等の教職員への対応を追加した「性の多様性に関する理念と対応ガイドライン—LGBT 等の学生と教職員を包摂するキャンパスを目指して—」を策定【令和4年12月】
- ☆ バスの利便性向上、タクシーへの乗り継ぎ、今後普及が見込まれるマイクロモビリティとの接続など、東広島市民の交通利便性向上、地域の更なる活性化を目指して、東広島キャンパスの中央口に「下見・鏡山地区バス交通結節点」を整備【令和5年3月】



広島大学統合報告書 2022



大学改革この1年 -令和4年4月～令和5年3月の取組-

令和5年8月 総合戦略室作成